



白秋没後 80 年事業の最後を飾る 由紀さおり・安田祥子 with 木山裕策 童謡コンサート



白秋没後 80 年の最後を飾るイベントとして、由紀さおり・安田祥子姉妹の童謡コンサートを開催します。ゲストは家族がテーマの曲「home」で知られる歌手の木山裕策さん。次の世代へ贈る詩を3人が紡ぐ、温もりのあるステージです。ぜひ家族で参加してみませんか。

- 日時 3月21日(火・祝) 午後3時開演(開場は45分前)
- 入場料(全席指定) ▷一般=A席4500円、B席3500円▷高校生以下=A席2000円、B席1500円。未就学児も入場可(詳しくは市民文化会館へ問い合わせ)
- 前売券販売 1月9日(月・祝) 午前10時から市民文化会館で販売開始

柳川観光大使が歌う白秋の詩の世界 吉田明未ソプラノリサイタル

声楽家で柳川観光大使の吉田明未さんによるソロリサイタルを開催します。北原白秋が作詞した童謡や日本歌曲の名曲など幅広い曲を美しい声で歌いあげます。ぜひ聞いてみませんか



- 日時 3月5日(日) 午後2時開演(開場は45分前)
- 入場料 全席自由1000円。未就学児は入場不可 ※未就学児の託児はありません。
- 前売券販売 1月7日(土) 午前10時から市民文化会館で販売開始

さまざまなアート作品が大集合 suito ART STREET



「日常にアートを」のテーマで始まり、今回で3回目となる ART STREET。福岡を拠点に活動するさまざまな現代アート作家の作品をロビーやギャラリーに展示します。入場は無料です。この機会に、気軽にアート作品を鑑賞してみませんか。

- 日時 1月4日(水)～22日(日) 午前10時～午後5時(22日は午後4時まで)

プロと一緒に楽器に触れよう 楽器体験ワークショップ参加者募集

ラテンハープやドラムをプロと一緒に体験できるワークショップを開催します。参加には事前に市民文化会館へ電話で申し込みが必要です。

- 日時 2月4日(土) ①午後11時～②午後2時～
- 対象 ①小学生～高校生②一般(専門学校や大学生含む)
- 定員 各15人(応募多数の場合は抽選)
- 参加費 ①1000円②2000円(付き添い無料)



【写真2】飲食店の主人たちが話している場面



【写真1】主人公の2人が出会う場面

今回は、戦後間もない時期の演劇の写真を紹介します。

昭和22(1947)年8月3、4日、柳河劇場で劇団「かささぎ」の第1回公演が行われました。柳河劇場は、大正13(1924)年に現在の柳川市横山町に建てられた劇場です。劇団「かささぎ」は、柳川出身の小説家、長谷健が創設した柳河文化クラブの演劇部員によって結成されました。この結成には、白秋詩碑の建設費を得るために長谷健が関わったと言われています。劇団員は、職業役者ではなく、それぞれが仕事をもち、合間のわずかな時間で稽古を重ねていました。

第1回公演の演目は、「恋田麿」「黒潮」「故郷の声」の3作品。「恋田麿」は、劇団「かささぎ」のために長谷健が書き下ろした作品です。また、「黒潮」「故郷の声」は昭和初期に活動した劇作家八木隆一郎の作品です。「故郷の声」は昭和21年7月、「黒潮」は昭和22年3月に東京で初演されたもので、当時の新作が柳川で観られたこととなります。

写真は、3作品のうち「故郷の声」のもので、終戦後に中国から引き揚げた姉崎たきえと復員兵の川

劇団「かささぎ」の活動

古文書館 中川 晃一

村安蔵が主人公の同作品。写真1は2人が飲食店で出会う場面、写真2は飲食店の主人たちが話している場面です。たきえは息子が出征からまだ帰っておらず、安蔵は戦争で家族を失っていました。2人は飲食店での出会い、仮の親子のような関係となり、荒んでいた安蔵が心を改めて新しい一歩を踏み出していきます。

「故郷の声」に限らず、「黒潮」「恋田麿」も、戦争から引き揚げてきた人や、それに関わる人を題材にしていて、当時の人たちにとって身近なストーリーだったことがうかがえます。また、公演プログラムのあいさつ文では、「きらびやかな衣装をつけた芝居だけがいい芝居ではない」という柳川の風潮を改めて理解してほしい」と書かれています。劇団「かささぎ」は、柳川の人々がどういった演劇を観たいかを考えて演目を選びつつ、柳川の演劇文化も強く意識して活動していたといえます。

その後、劇団「かささぎ」は、昭和23年にも柳河劇場で白秋詩碑完成記念として第2回公演を実施し、小中学校や公民館でも演劇を披露。戦後しばらくの間、柳川の人々へ文化的な豊かさをもたらしました。

市史抄片別巻 vol.80

「思ひ出」写真館

市史編集委員会では、数年後に写真を中心とした本を刊行する予定です。現在さまざまな写真や絵はがきなどを集めています。隔月1日号に、同委員会で集めた写真を紹介します。

【問】市生涯学習課市史編さん係 (☎72・1275)